

東アジア市民社会フォーラム

第16回(名張・伊賀)大会

＜テーマ＞

「人口減少社会における持続可能な地域コミュニティの形成」
－ 新たな担い手と多様な連携が拓く地域の未来 －

会 期：2025 年 1 1 月 1 3 日（木）・1 4 日（金）
会 場：名張産業振興センター「アスパ」
ハイトピア伊賀、ヒルホテル サンピア伊賀
主 催：公益財団法人公益法人協会
後 援：三重県、名張市、伊賀市、名張市教育委員会
実施主体：東アジア市民社会フォーラム実行委員会、同伊賀地域現地実行委員会
※三重県海外 MICE 誘致促進補助金 国際会議開催計画認定事業

開催趣旨

東アジア市民社会フォーラムは、日本・中国・韓国の3か国の相互理解と融和を通して、東アジア地域の平和と繁栄の実現を目指す国際交流フォーラムです。2009 年以降、日・中・韓の市民社会セクターが抱える様々な課題を共有し、解決への道筋を探ることにより、市民社会の発展を目指すべく、毎年各国が持ち回りで開催しています。

第 16 回フォーラムは日本では初めての地方開催として、三重県伊賀地域（名張市・伊賀市）で行います。伊賀地域では、平成の市町村合併を機に、地域内分権の議論が盛んとなり、全国に先駆けて「新たなコミュニティづくり」を独自条例で制度化し、様々な分野で取組実績を有するなど、全国各地に大きな影響を与えてきました。しかしながら、その後、約 20 年が経過するなか、伊賀地域だけでなく全国各地で少子高齢化等による人口減少が続き、市民活動やコミュニティ活動においては担い手が不足し、NPO・団体等においては組織承継ができずに解散するケースも目立ってきています。

このため、今回のフォーラムでは、「人口減少社会における持続可能な地域コミュニティの形成」をテーマに、これまでの取組の成果とともに少子高齢化や人口減少といった社会課題も踏まえ、持続発展可能な地域コミュニティ活動に何が必要かを議論し学べる機会にします。

■フォーラム参加費：11/14 金 9:00～ハイトピア伊賀でのフォーラムは無料です。

（会場整理の都合上、11/5 までの事前申込みを基本としていますが、当日の参加も可能です。

ただし、資料は(公財)公益法人協会HPから入手してください。）

■問合せ先：第 16 回東アジア市民社会フォーラム・伊賀地域現地実行委員会

伊井野 090-9948-4985(当日連絡用)

■その他：震災や風水害などの事由により開催が困難と予想される場合は、

(公財)公益法人協会特設ページにて 11 月 12 日(水)午前中までにお知らせします。



公益法人協会特設ページ

【プログラム】

11月13日（木）

■東アジア市民社会フォーラム開会式・歓迎交流会 18:00～20:20

会 場：名張産業振興センター「アスピーア」（名張市南町 822-2、TEL：0595-63-0080）

参加費：開会式は無料です。 歓迎交流会は 5000 円の参加費が必要です。

※事前申込なしでの当日参加はできませんので、ご了解ください。

内 容：歓迎の舞（上野朝義師「面掛け神事」演武）

歓迎挨拶（北川裕之名張市長）

主催者挨拶（日本・韓国・中国）

東アジア市民社会フォーラム功労者授与（日本・韓国・中国）

歓談・交流会（居合演武）

11月14日（金）

■東アジア市民社会フォーラム・本会議 9:00～13:30

会 場：ハイトピア伊賀5階「多目的大研修室」（伊賀市上野丸の内 500）

参加費：無料 ただし定員 200 人（予約先着順で受け付けます）

テーマ：「人口減少社会における持続可能な地域コミュニティの形成」

—新たな担い手と多様な連携が拓く地域の未来—

○基調講演 9:00～10:05

日本 「日本における地域コミュニティの新たな展開」

講師：名和田 是彦氏（ナワタ ヨシヒコ）（法政大学法学部教授、コミュニティ政策学会会長）

平成の市町村合併を機に急速に全国に広まった小学校区単位程度での新たなコミュニティづくりなどを紹介し、少子高齢化及び人口減少社会を想定した中で如何に地域コミュニティを維持・形成しようとしてきたかを概観し、具体的な取組事例の紹介と今後の展望を模索します。

韓国 「人口減少社会における持続可能な地域社会の形成」

講師：チェ・インスク氏（高麗大学政治研究院主任研究員）

人口減少社会に対応するため、フランスの農村部約 200 の町に拡大しているコリブリ（ハチドリ）運動を例に挙げ、市民と集団の行動をエコロジカルで包摂的な社会の到来に向けさせることで、地域で共同店舗や医療センターを運営するなどの取組を紹介します。

中国 「高齢化に積極的に対応する中国の政策実践—コミュニティの持続可能な開発を通じて」

講師：李 静氏（リ・ジン）（雲南大学政府学部教授） 記録動画で出演

中国における急激な高齢化に対応するため、中央政府による積極的な政策が構築されるとともに、実践例として、これまでの高齢者活動センターから在宅高齢者向けサービスを提供する拠点へと開発し、さらに都市部では 15 分圏内での食事（地域食堂）や清掃、入浴、医療などの総合的な養老サービスを提供している事例を紹介します。

○休憩、参加者による記念撮影 10:05～10:35 コーヒーブレイク

○研究事例報告 10:35～12:35

日本① 「名張市における地域づくり組織の取組—互助ボランティア活動の事例を中心に」

講師：田畑 純也氏（タバタ ジュンヤ）（名張地区まちづくり協議会会長）

全国に先駆けて新たなコミュニティづくりを進めてきた名張市の制度や 15 地域の取組事例を概観するとともに、他地域にも大きな影響を与えた互助ボランティア活動（会員制の生活支援や移動支援サービス）をご紹介します。

② 「地域コミュニティを支える中間支援組織の役割」

講師：平井 俊圭氏（ヒライ シュンケイ）（伊賀市社会福祉協議会会長）

伊賀市での新たなコミュニティづくりを支援するために、各地での研修会や研究事例発表会を行うとともに、職員の地域担当制（地域福祉コーディネーター）により、各地域で地域福祉活動の推進や取組の事業化（コミュニティビジネス）を進めるなど、中間支援組織としての役割をご紹介します。

韓国① 「人口減少社会における持続可能な地域コミュニティの形成—韓国と日本の事例を中心に」

講師：イ・ジテク氏（韓国非営利団体研究会学術委員長）

韓国と日本が直面している共通の課題である人口減少、高齢化、地域消滅の危機に対する対応を分析し、人口減少社会においてボランティアと関係人口は単なる補完的な役割を超え、持続可能なコミュニティを支える重要な社会的インフラであることを、具体事例により紹介します。

② 「慶尚北道の人口減少対策の主な施策と課題」

講師：チョ・ドクファン氏（慶北開発研究院主任研究員兼人口センター長）

慶尚北道による短期的な人口減少対策（定住環境の改善、生活インフラの拡充、公共サービスの強化など）と長期的な少子化克服戦略（未利用施設を活用した子育て世代用のコミュニティ拠点の形成など）を組み合わせて、道の人口構造の不均衡を緩和し、地域活力の向上、持続可能な地域発展のモデルを紹介します。

中国① 「街づくりを牽引する地域チャリティの実践的な探求—北京朝陽門通りの実践と東アジアコミュニティの共建に基づく」

講師：王 燕珍氏（ワン イェンジェン）（シチェンコミュニティ財団創設者；中国老年学・老年医学会コミュニティ在宅高齢者介護支部長）

北京朝陽門街と北京思域コミュニティ公益財団との連携による実践活動（共済年金「タイムバンク」や高齢者向給食支援など）を通じ、共同体慈善の共通論理（儒教の文化的伝統の承継）を整理するとともに、東アジアにおけるコミュニティ・フィランソロピーにおける共同プロジェクトを提案します。

② 「愛は常に—高齢化対応とコミュニティ開発の実践」

講師：ジャン・インユエ氏（鷹潭市愛外部ボランティア協会副理事長）

国家的なボランティアサービスプロジェクトの最優秀を受賞した愛外部ボランティア協会の活動を通じて、専門的なホスピスケアや多面的なライフケアネットワークのほか、文化・教育のアウトリーチの必要性、健康な若手高齢者のボランティアによる共助ネットワークづくりなどについて紹介します。

○パネルセッション 12:35～13:20

コーディネーター 古沢 広祐氏（日本側実行委員会委員長、國學院大學研究開発推進機構客員教授）

パネリスト 研究事例報告者の皆さま

■閉会式・引継ぎ式 13:20～13:30

■昼食・休憩 13:30～14:30

■周辺散策・見学 14:30～17:30

内 容：伊賀上野城、忍者屋敷・忍者博物館、俳聖殿、上野城下町（子ども・若者の居場所づくり、多文化共生の拠点などを含む）などがあります。自由散策ですが、予約や参加費は不要です。ただし、伊賀上野城、忍者屋敷等は別途入場料が必要です。

※海外参加者はエクスカーションとして案内人が同行します。

■SAYONARA パーティー 18:00～20:00

会 場：ヒルホテル サンピア伊賀（伊賀市西明寺 2756-104、TEL：0595-24-7000）

参加費：7,000 円（税込み） ※参加費は当日、会場の受付でお支払いください。

※事前申込なしでの当日参加はできませんので、ご了解ください。

〔フォーラムへの参加申込方法〕

フォーラムへの参加申込みは、事前に下記サイトからお願いいたします。

- ① 11月13日（木）18:00～ 開会式(当日でも参加可能)・歓迎会(事前に申し込む必要あり)
- ② 11月14日（金） 9:00～ 東アジア市民社会フォーラム・本会議(当日でも参加可能)
- ③ 11月14日（金）18:00～ SAYANARA パーティ(事前に申し込む必要あり)

★ 申込受付期限：11月5日（水）

申込はこちら ⇒



13 日の QR コード



14 日の QR コード

上記グーグルフォームからの申込みができない場合は、お手数ですが

現地実行委員会 伊井野 (iino@akame-satoyama.org) まで①～③のいずれに参加を希望するか、お名前、ご所属、ご連絡先とともにお知らせください。

〔大会資料の提供〕

韓国・中国の発表内容も含め、和訳したものを、当日配布予定です。

※本案内文に掲載されている海外講師の発表概略及び大会資料の和訳は、現地実行委員会の辻上による文責であり、必ずしも正確に翻訳されているわけではないことをご了解願います。

〔会場案内〕

11月13日（木）18:00～ 開会式・歓迎会 【名張市】



11月14日（金）9:00～ フォーラム 【伊賀市】

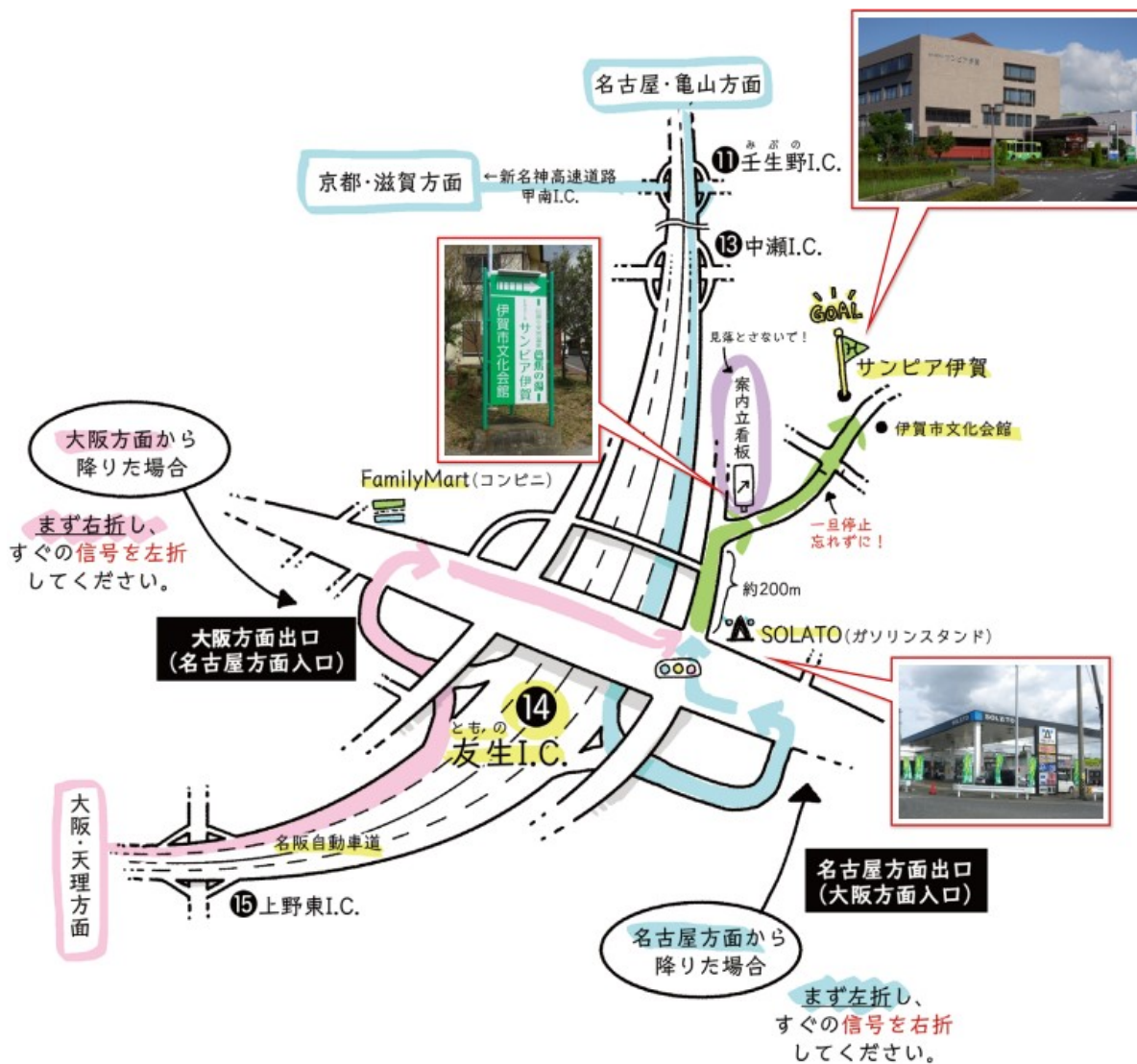


11月14日(金) 18:00～ SAYONARA パーティ 【伊賀市】

○ヒルホテル サンピア伊賀への交通手段として、上野市駅前バス停から市内循環バス（にんまるバス）やホテルのシャトルバスが運行しています。

- ・にんまるバス 上野市駅前 15:20 発 → サンピア伊賀 15:29 着
- ・ホテル無料シャトルバス 上野市駅前 16:15 発 → サンピア伊賀 16:25 着
- ・にんまるバス 上野市駅前 17:50 発 サンピア伊賀 17:59 着

○お車で移動される方は、次の案内図を参考にしてください。



〔宿泊施設（参考）〕

＜名張市＞

- ・スマイルホテル名張 TEL：0595-63-0011 名張駅から徒歩1分
- ・ホテルAZ 三重名張店 TEL：0595-42-8188 名張駅から徒歩7分
- ・ホテルルートイン名張 TEL：0595-67-3330 桔梗が丘駅から徒歩15分

＜伊賀市＞

- ・伊賀上野シティホテル TEL：0595-22-0101 上野市駅から徒歩 3 分
- ・ルートイングランティア和蔵の宿 伊賀上野城前 TEL：0595-26-1011 上野市駅から徒歩 10 分
- ・上野フレックスホテル TEL：0595-21-3111 上野市駅から徒歩 12 分